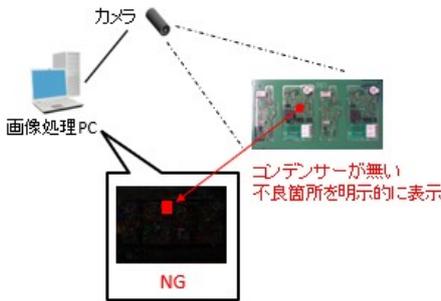


【概要】

 <p>カメラ</p> <p>画像処理PC</p> <p>コンデンサーが無い 不良箇所を明示的に表示</p> <p>NG</p>	<p>【内容】</p> <p>予め良品ワークの画像を学習データとして登録しておく事で、撮影したワーク画像が良品か不良品かを判別します。</p> <p>結果として、良品ワークとの差異を明示的に表示します。</p> <p>【効果】</p> <p>目視での外観検査によるムラ（ヒューマンエラー）の予防に繋がります。</p> <p>外観検査を自動化することも可能です。</p>
---	--

① 不良品画像が不要

良品画像のみの学習となりますので、不良品画像を用意いただく必要がありません。
不良品画像を用意するのが困難な場面でも活用が可能です。

② アノテーションが不要

学習データへのアノテーション（タグ付け）を行う必要がありません。
良品画像を用意いただく以外、面倒な事前準備が不要です。

③ 細かなパラメータ設定が不要

判定に必要な様々なパラメータを自動で算出するため、面倒なパラメータ調整をユーザ側で行う必要がありません。

本件では基盤上の部品に対する外観検査を行っておりますが、基盤に限定した外観検査システムではありませんので、基盤以外のワークへの対応も可能です。

